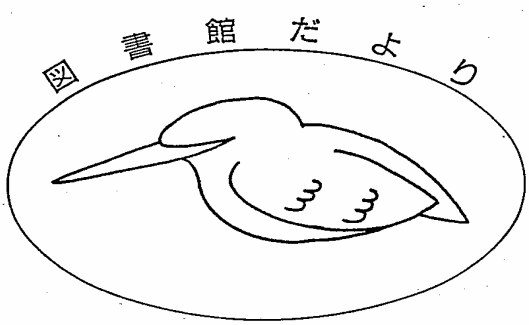


Vol.33 No.2 (No.321) 2023.7.14
東洋英和女学院大学図書館

目次

「サンクチュアリ」 望月克哉先生　寄稿･･･p1
エントランス展示、Library Tree･･･p2
ミニ展示ご案内、図書館1F バルコニー再開･･･p3
2023 年 7 月～10 月の開館予定･･･p4

前期も残りあと少しですね。7 月 31 日（月）からは夏季の長期貸出（返却日は 9 月 25 日）が始まります。新作図書や課題図書はすぐに借りられてしまいますので、ご希望の本はお早めに！

さて、今回は国際コミュニケーション学科教授の望月克哉先生にご寄稿いただきました。これから始まる長期休暇中の図書館利用や読書のヒントになるかもしれません。是非ご一読ください。

サンクチュアリ

最初に告白しておかねばなりません。自分自身も、大学時代までは、図書館を本の収蔵庫、必要な書籍の置き場としか考えていませんでした。小学生や中学生にとっては読書の素材を手にとる場所、高校生になると放課後に宿題を片付ける空間にもなるでしょうか。しかし、大学生活を振り返っても、閲覧室に長くとどまっていた記憶がなく、いわんや書架の間をめぐることなどはなかったのです。教員になって図書館でのブラウジングを勧めてはいますが、大学生であった自分がそんな習慣を身につけていたわけではありません。

卒業後、開発途上国専門の研究所で働くようになって、自分にとって図書館のもつ意味が大きく変わりました。文献は、調査研究という仕事の重要な資料であるばかりではなく、自分が知らない歴史や見たことがない国や地域の事情を教えてくれることに気づいたからです。昭和の時代に建てられた、細長いビル 4 階のフロアを占めていたのは、ウナギの寝床のような閲覧室と、低い天井の下に書架がひしめく、関係者以外立ち入り禁止の書庫でした。所蔵されていた数十万タイトルは日本国内でもそこにしかないというものばかり、読めない文字や学んだことがない言語が印刷された書籍も少なくありませんでした。

そんな図書館が自分にとってサンクチュアリ（sanctuary）となりました。貴重な資料が所蔵されている静謐な空間は、文字通りの「聖域」ながら、むしろ業務のあいだの「隠れ場所」や「避難所」でもありました。仕事中にサボっていたと言われたら、その通りですが（苦笑）、同僚たちの視界から離れて一息つき、考え事をするスペースとしていたのです。遮光ガラスを通して背表紙を照らす光は柔らかく、書架の間の通路に立つと本に包まれている感じがしたものでした。遅ればせながらブラウジングの楽しみを知ったのも、この頃だったかもしれません。

英和の図書館を初めて訪れたのは、所属する学会が開かれた 5 月、新緑の中に建つブロック壁を見てホーッとため息がでました。一歩、館内に足を踏み入れて、その開放感に二度目の嘆息を漏らすことになったのです。開架式の書架はゆったりと配置されていて、広々とした地下1階の閲覧スペースに大きな窓から差し込む緑の光線が溢れていたからです。それは、自分の職場の図書館とは全く異なるものの、まさにサンクチュアリでした。

天敵の憂いなく、鳥類が羽をやすめ、草食動物たちが草を食む場所もまたサンクチュアリと称されています。たとえてみれば大学そのものがそうした場所ですが、なかでも図書館はそう呼ぶにふさわしいでしょう。ストレスの多い社会に生きる者としては、身近に「隠れ場所」や「避難所」があることは本当にありがたいものです。キャンパスで過ごす時間の一部を、サンクチュアリでのひと時に割いてみてはどうでしょうか。

（国際社会学部　国際コミュニケーション学科　教授　望月克哉）

エントランス展示

専門書より身近な本　～児童図書～

4 月から図書館エントランスホールの展示ケースでは、「専門書より身近な本～児童図書～」と題して、児童図書を展示しています。

幼児期から中学生の児童・生徒までを対象にした書籍を児童図書とすることが多いですが、本学では文中の漢字にルビが振ってある書籍を児童図書としています。

児童図書とはいえ、一つのトピックの説明や解説がとても分かりやすく、丁寧に書かれています。

展示している児童図書は本学蔵書のほんの一部です。たくさんの本が皆さんとの出会いを待っています。図書館にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。展示期間は 7 月末までを予定しています。

Library　Tree

皆さんは 1F エントランスにある“Library Tree”（自由に意見を付箋紙に記入して貼れるコミュニティボード）をご存じですか？

Library Tree では、図書館を利用される皆さんの「図書館にこんなのがあったらいいな、こうだったらいいな」という、さまざまなご要望やご意見を募集しています。

設備や利用方法に関することなど何でも構いません。日頃、図書館を利用しているときに気が付いたこと、思ったことなどを付箋紙に書いて貼付してください。

お寄せいただいたご要望やご意見には、実現可能な事柄から取り組んでいきます。

ミニ展示ご案内

図書館のエントランスを入ってすぐ、カウンター前にミニ展示コーナーがあります。

図書館を楽しんでいただくための企画として、年に 2 回テーマを変えて展示しています。

2023 年度前期のテーマは「英和新生活応援ナビ 2023」として、レポート・論文の書き方、大学生活の過ごし方、東洋英和女学院にゆかりのある本など、新入生の皆様をサポートする本を中心に集めました。

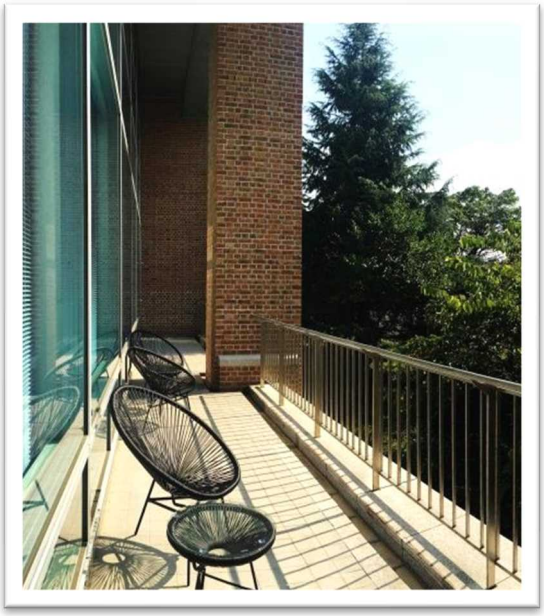
ファッション、旅行、料理など、気軽に楽しんでいただける本も展示しています。

今回の展示は、図書館のフロア（B2F～2F）ごとに本を並べています。

お気に入りの 1 冊が見つかりましたら、その本が置いてあるフロアにもぜひお立ち寄りください。新たな発見があると思います。

展示している本は貸出もできます。どうぞお気軽にお手に取ってご覧ください。

図書館1F のバルコニーが再開しています



新型コロナウィルス感染症対策として閉鎖していた図書館1F のバルコニーが、飲食可能スペースとして再オープンしました！

晴れた開館日の 9:00～17:00 にご利用いただけます。

このスペースでは、持参したお茶を飲んだり、お菓子やランチ（汁物以外の軽食）を食べたりしても OK です。

勉強に疲れた時、ちょっとお友達とおしゃべりしたい時…バルコニーに出て気分転換してみませんか。

＊飲食可能スペースの実現は、英和生のみなさんのご意見がきっかけでした。図書館はみなさんの声次第で進化していきます。積極的なご意見をお待ちしています。

利用のルールは 1 点のみ！
ゴミは自分で片付けましょう♪

2023 年 7 月～10 月の開館予定

7 月						
日	月	火	水	木	金	土
						1 補講日
2	3	4	5	6	7	8 補講日
9	10	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29 OC
30	31					

8 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 振替休日	8 夏季休業	9 夏季休業	10 夏季休業	11 山の日	12
13 OC	14 夏季休業	15 夏季休業	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26 OC
27	28	29	30	31		

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 OC	11	12	13	14	15	16
17	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29	30

10 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツの日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

	通常開館　8:50～20:00
	短縮開館　9:00～17:00
	閉館
	OC(オープンキャンパス)当日は見学開館です。 資料の貸出やレファレンス業務は行いませんのでご注意ください。

詳しい情報は、
図書館ホームページを
チェック！！

図書館だよりは図書館ウェブサイトからバックナンバーも見ることができます！

https://sites.google.com/toyoeiwa.ac.jp/library/kankou/toshokandayori

（編集担当：反田）